

# 一般演題発表 3月18日(土)

## B会場(3階) 1日目

B-1 回復期リハ① 3月18日(土)14:50~15:44

座長:柳内悠(埼玉県/新越谷病院 リハビリテーション科技士長/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
B-1-1	長谷川智	理学療法士	群馬県	公立七日市病院	国際生活機能分類に関する院内学習会の効果の検討
B-1-2	大川友恵	理学療法士	大阪府	豊中平成病院	当院回復期リハビリテーション病棟における廃用症候群患者の日常生活動作項目と在宅復帰の関係性
B-1-3	山田賢次	理学療法士	大阪府	ベルピアノ病院	当院回復期リハビリテーション病棟におけるアウトカム評価除外患者選定に関する一考察
B-1-4	大石賢吾	作業療法士	静岡県	山の上病院	モーニングリハビリテーション介入により自宅退院後のQOL維持を図った一例 ~散歩に行きたい~
B-1-5	加藤千尋	言語聴覚士	東京都	世田谷記念病院	認知行動療法の考えを取り入れ機能改善、復職を果たした一例
B-1-6	濱田貴史	作業療法士	岡山県	さとう記念病院	入院時の状態からみた実績指数の特徴

B-2 回復期リハ② 3月18日15:45~16:30

座長:藤本真佐基(北海道/苫小牧東病院 リーダー/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
B-2-1	篠崎有陸	理学療法士	群馬県	内田病院	認知機能障害を有する高齢者(認知症者)が自宅退院するための要因の検討(第2報)
B-2-2	朝本成奎	理学療法士	大阪府	岸和田平成病院	認知症とFIM運動項目の利得の関連性について
B-2-3	蔵本匡平	理学療法士	兵庫県	西宮回生病院	自主トレーニング定着に及ぼす因子の特定 ~趣味活動の有無が与える影響について
B-2-4	飯塚千尋	作業療法士	群馬県	公立七日市病院	調理関連動作と趣味活動の再開を目指して
B-2-5	小松愛実	言語聴覚士	香川県	橋本病院	前頭葉損傷による多彩な高次機能障害を呈した症例へのSTの取り組み <食事摂取、調理の問題を中心に>

B-3 回復期リハ③ 3月18日(土)16:40~17:25

座長:飯島直孝(東京都/緑成会病院 リハビリテーション科 係長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
B-3-1	中釜大輔	理学療法士	埼玉県	富家病院	リハビリ拒否がある患者に対する自宅復帰までの関わり
B-3-2	吉井宏治	理学療法士	大阪府	浜寺中央病院	回復期リハビリテーション病棟における入院時車椅子操作能力と身体機能・ADLの関連性について
B-3-3	井高一誠	理学療法士	兵庫県	東浦平成病院	運動器疾患患者の早期退院に影響を与える因子 ~FIMに着目して~
B-3-4	芝征志	作業療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	重度の意思疎通困難、遂行機能障害を呈した症例に対し自宅での実地練習を行い自宅退院に至った症例
B-3-5	石井亜季	言語聴覚士	愛媛県	松山リハビリテーション病院	右後頭葉梗塞により空間認知障害を呈した症例に対する在宅復帰に向けてのチームアプローチ

B-4 回復期リハ④ 3月18日(土)17:26~18:11

座長:糸田昌隆(大阪府/わかさ竜間リハビリテーション病院 歯科・リハ科診療部長/歯科医師)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
B-4-1	瓜生勝也	理学療法士	千葉県	富家千葉病院	左脛骨高原骨折患者に膝蓋上嚢と内側広筋へのアプローチが後の歩行能力向上に功奏した症例
B-4-2	荒尾美千子	理学療法士	大阪府	弥刀中央病院	家族構成や同居人数が自宅退院に及ぼす影響
B-4-3	梅田浩之	理学療法士	山口県	山口平成病院	HONDA歩行アシスト使用による即時的効果検証とアンケート調査の実施
B-4-4	平原華倫	作業療法士	岡山県	さとう記念病院	起算日から回復期リハビリテーション病棟入棟までの期間による違い
B-4-5	上野美沙代	看護師	大阪府	豊中平成病院	転倒ゼロを目指して～現状把握と意識調査～

C会場(3階) 1日目

C-1 脳血管疾患リハ① 3月18日(土)14:50~15:35

座長:藤田聡志(神奈川県/鶴巻温泉病院 診療部 副部長/医師)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
C-1-1	清水良則	理学療法士	東京都	多摩川病院	HONDA歩行アシストを用いた歩行時中殿筋の筋活動について
C-1-2	中嶋誠	理学療法士	東京都	緑成会病院	維持期リハビリテーションにおける、ホンダ歩行アシスト装置の効果の検証
C-1-3	越野有香	理学療法士	石川県	芳珠記念病院	左被殻出血により重度感覚障害と右片麻痺を呈し、免荷アシスト量を調整し歩行練習を行った一症例
C-1-4	勇村香那子	理学療法士	兵庫県	東浦平成病院	慢性期片麻痺患者に対するHONDA歩行アシストの即時効果の検証
C-1-5	錦織理衣	言語聴覚士	山口県	宇部記念病院	発症から7年以上経過した今も、表出面での改善の見られる重度失語症例

C-2 脳血管疾患リハ② 3月18日(土)15:36~16:21

座長:大村智也(徳島県/鳴門山上病院 リハビリテーション部門 主任/言語聴覚士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
C-2-1	浅田敬規	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	Honda歩行アシストを使用することによる歩行時の足関節への影響
C-2-2	豊田平介	理学療法士	東京都	セントラル病院	脳血管障害患者の継続したリハビリテーションの可能性—重度意識障害からの回復経過より—
C-2-3	金野広大	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	脳出血による麻痺側重度麻痺と非麻痺側の足関節背屈制限とPusher現象を呈した症例の施設退院を通して
C-2-4	土橋淳美	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	重度嚥下障害患者に対して舌の機能訓練実施の試み
C-2-5	石田彩子	言語聴覚士	大阪府	わかさ竜間リハビリテーション病院	意識障害・嚥下障害を呈す重症患者に他職種と家族の協力を経て呼吸訓練を行った一症例

C-3 脳血管疾患リハ③ 3月18日(土)16:40~17:25

座長:長谷川奨斗(東京都/世田谷記念病院 主任/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
C-3-1	徳嶋慎太郎	理学療法士	東京都	多摩川病院	ロボットスーツHALの足関節固定と非固定での歩行時の筋活動の特徴
C-3-2	喜多見渚	理学療法士	神奈川県	新戸塚病院	車椅子移乗介助量軽減に向けて ーブッシャー症候群に対する頭頸部への介入ー
C-3-3	山田裕子	理学療法士	大阪府	ベルピアノ病院	日常生活全般に介助を要していたが、地域包括ケア病棟から療養病棟へ転床し、独歩で自宅復帰となった一例
C-3-4	高山蒼	作業療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	重度意識障害を呈した症例に対し 退院後も家族と過ごす足掛かりができた一例
C-3-5	酒井莉緒	作業療法士	大阪府	わかくさ竜間 リハビリテーション病院	脳梗塞発症後長期入院となり、集団活動の併用にて 自己認識が向上し自宅復帰が可能となった一例

C-4 訪問リハ 3月18日(土)17:26~18:11

座長:福井正樹(東京都/永生病院 訪問リハ 主任/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
C-4-1	榎本智	理学療法士	東京都	緑成会病院	訪問リハビリでの難病利用者への他職種による生活環境への介入
C-4-2	小林聖弥	理学療法士	福井県	池端病院	訪問リハビリテーションでの関わりで排尿動作を再獲得した在宅人工呼吸器患者の1例
C-4-3	藤井由佳	理学療法士	京都府	京都民医連第二中央病院	妻のみが介護者である2症例の訪問リハを経験して
C-4-4	田中利征	理学療法士	兵庫県	園田病院	訪問リハで多職種連携によりADL向上に繋がった一症例
C-4-5	佐藤勇人	理学療法士	香川県	橋本病院	訪問リハビリテーションによる社会参加支援に関連する要因

## D会場(3階) 1日目

D-1 認知症リハ① 3月18日(土)14:50~15:44

座長:小澤正幸(東京都/鶴川サナトリウム病院 リハビリテーション科技士長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
D-1-1	安原千亜希	理学療法士	群馬県	内田病院	当院の地域包括ケア病棟における認知症患者の分 ~認知症リハに期待するもの~
D-1-2	野原洋平	理学療法士	兵庫県	西宮回生病院	療養病棟における集団リハビリテーションの 認知・精神機能への効果
D-1-3	林こずえ	作業療法士	東京都	永生病院 介護サービス スマイル永生	リハビリテーション会議の実施により ADLおよびIADLの改善につながった一症例
D-1-4	寺本絵理	作業療法士	大阪府	わかくさ竜間 リハビリテーション病院	当院介護保険病棟における集団を用いた作業療法の取り組み
D-1-5	佐藤法子	看護師	東京都	京浜病院	適切な看護とリハビリを提供する事で、 ADLを拡大する事が出来た事例の報告
D-1-6	外園実	理学療法士	東京都	京浜病院・新京浜病院	当院の認知症リハビリの取り組みに関する検討 -認知症患者のリハビリによる改善効果の客観的な評価の試み-

D-2 認知症リハ② 3月18日(土)15:45~16:39

座長:上田佳史(石川県/芳珠記念病院 リハビリテーション科 部長/医師)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
D-2-1	三宅貴之	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	認知機能低下により運動療法が困難であった一症例に対する取り組み
D-2-2	押見心太郎	作業療法士	東京都	平成扇病院	運動療法により認知症改善を目指した症例報告 ~持続的な有酸素運動を目的とした機器の導入~
D-2-3	苅部直寿	作業療法士	兵庫県	南淡路病院	認知症患者への脳活性化プログラムの効果検証 ~認知症高齢者健康関連QOL評価表等を用いて~
D-2-4	岩内宏達	作業療法士	香川県	橋本病院	チームアプローチにより自宅退院に繋がった認知症患者の一例
D-2-5	藤井崇	臨床心理士	愛知県	福祉村病院	福祉村病院における認知症リハビリプロジェクト 『紙漉き』の取り組みについて
D-2-6	三ツ木弘和	理学療法士	東京都	新京浜病院	2人の認知症患者を交えて行う運動の取り組みについて

D-3 廃用リハ① 3月18日(土)16:50~17:35

座長:柳澤正(群馬県/公立七日市病院 リハビリテーション部 部長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
D-3-1	石井翔悟	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	療養病棟に勤務する職員の離床効果に対する認識度の調査と 離床環境改善を検討して
D-3-2	飴村優	理学療法士	神奈川県	新戸塚病院	長期臥床患者に対するポジショニングの検討 ~治療的観点を用いた設定と共有~
D-3-3	中村恭子	理学療法士	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	当院リハ科における離床活動の取り組み ~離床リハを立ち上げて~
D-3-4	富沢哲也	作業療法士	東京都	永生病院	寝たきり患者に対する離床方法の検討と病棟との関わり ~介護療養病棟におけるOTの役割~
D-3-5	井出わかな	作業療法士	徳島県	江藤病院	頸部へのポジショニング効果による機能的改善 ~報告~

D-4 廃用リハ② 3月18日(土)17:36~18:30

座長:櫻井真咲(東京都/多摩川病院 リハビリテーション部主任/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
D-4-1	外川美雪	理学療法士	東京都	大久野病院	医療療養型病棟にて長期的に介入したことで 自宅退院が可能となった廃用症候群の症例
D-4-2	大辻裕樹	理学療法士	神奈川県	平成横浜病院	当院での2次的障害予防への取り組み ~経管栄養時ヘッドアップによる全身状態の効果測定~
D-4-3	松本将樹	理学療法士	徳島県	江藤病院	離床により生じる生理的変化と それに関連する因子および離床基準の検討
D-4-4	伊藤啓史	作業療法士	東京都	緑成会病院	慢性的うつ症状とアパシーに着目した介入について
D-4-5	松本麻美子	作業療法士	神奈川県	新戸塚病院	療養病棟患者における集団療法が引き出す幸福感 ~VQとDHCを用いた研究~
D-4-6	野崎健蔵	言語聴覚士	鹿児島県	出水郡医師会立第二病院	認知症・四肢運動障害を呈した 人工呼吸器患者に対するコミュニケーション支援の検討

## E会場(3階) 1日目

### E-1 在宅復帰・在宅支援① 3月18日(土)14:50~15:44

座長:岡部知昭(埼玉県/霞ヶ関南病院 リハビリテーション部 部長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
E-1-1	小宮山千尋	理学療法士	埼玉県	埼玉回生病院	回復期から療養病床に入院した重度介助患者に高頻度なりハ介入し自宅復帰した症例 ~補高付きAFOを用いて~
E-1-2	和西勇樹	理学療法士	山口県	山口平成病院	リハビリ分野からみる住宅改修の現状と今後の課題 ~退院後再訪問を通して~
E-1-3	山本柗太	作業療法士	島根県	鹿島病院	退院に向けた患者・家族の心の支援ー母親に対する想いが強い家族との関わりからー
E-1-4	草野ひろみ	看護師	東京都	品川リハビリテーション病院	医療療養型病棟における患者情報分析
E-1-5	谷戸裕美	准看護師	東京都	永生病院	内服自己管理を中心に行った在宅支援
E-1-6	平山貴之	理学療法士	兵庫県	伊丹今井病院	重度ADL障害を呈した脳梗塞患者の自宅復帰までの支援(移乗・食事介助指導・QOL向上を中心に)

### E-2 在宅復帰・在宅支援② 3月18日(土)15:45~16:39

座長:吉田千秋(神奈川県/鶴巻温泉病院 科長/看護師)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
E-2-1	杉本麻衣子	作業療法士	東京都	大内病院	地域で暮らす慢性期精神疾患患者を見つめて
E-2-2	牟田博行	作業療法士	大阪府	わかくさ竜間リハビリテーション病院	目標設定等支援・管理を活用したリハビリテーション支援の現状と課題
E-2-3	岡邑あすか	看護師	愛媛県	松山リハビリテーション病院	内服自己管理アセスメントシートの有効性
E-2-4	花田彩子	介護福祉士	大阪府	中央小規模多機能センター	小規模多機能型居宅介護利用に至った介護者のいない高齢夫婦の一例
E-2-5	岡健太郎	作業療法士	広島県	おおうち病院	当院での訪問リハビリテーション支援の試み ~療養病院から在宅を繋ぐリハを目指して~
E-2-6	荒尾雅文	理学療法士	東京都	永生病院	当法人の新たな訪問リハビリテーションサービスの試み

### E-3 チームアプローチ① 3月18日(土)16:50~17:35

座長:吉田大地(福岡県/丸山病院 リハビリテーション医療保険部 理学療法室兼回復期 室長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
E-3-1	兼光信也	理学療法士	千葉県	印西総合病院	介護スタッフと協力し、HAL実働時間増加を目指した取り組み
E-3-2	喜久田剛毅	理学療法士	鹿児島県	出水郡医師会立第二病院	ポジショニングに従事する病棟スタッフの意識調査とリハスタッフ介入に関する一考察
E-3-3	溝口航	理学療法士	静岡県	熱川温泉病院	慢性腎不全患者に対し血液透析療法実施中に運動療法介入した一症例
E-3-4	小畑尚子	看護師	大阪府	千里リハビリテーション病院	多職種間でFIMを意識したチームアプローチ実現に向けて
E-3-5	牧田和裕	介護福祉士	東京都	京浜病院	当院での多職種連携の取り組み

E-4 チームアプローチ② 3月18日(土)17:36~18:12

座長:木村達(神奈川県/鶴巻温泉病院 リハビリテーション部 部長/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
E-4-1	三巻哲哉	理学療法士	神奈川県	小松会病院	動画撮影を用いた病棟職員との連携 —リハビリ室と病室での起居移乗能力のギャップ解消へ—
E-4-2	堺利香	理学療法士	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	地域包括ケア病棟におけるリハビリ科としての取り組み ～コミュニケーションを図ろう～
E-4-3	曾根康之	作業療法士	東京都	大内病院	社会適応困難となった軽度知的障害者への援助方法
E-4-4	奈良亮一	作業療法士	熊本県	平成とうや病院	後方連携のためのチームアプローチ ～重症呼吸器疾患患者の一例～

F会場(4階) 1日目

F-1 摂食・嚥下リハ① 3月18日(土)14:50~15:44

座長:阪口英夫(東京都/陵北病院 歯科診療部長/歯科医師)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
F-1-1	安部早紀	作業療法士	神奈川県	関東病院	「痛み」から「好きなこと」へ踏み出した症例
F-1-2	吉田了	言語聴覚士	埼玉県	平成の森・川島病院	経口摂取開始までの日数から考察する 回復期における嚥下障害の経過について
F-1-3	今村房子	言語聴覚士	大阪府	泉佐野優人会病院	嚥下機能改善と食思向上に認知機能訓練がもたらす効果について
F-1-4	折橋洋平	鍼灸師	徳島県	江藤病院	咀嚼能力と心身機能との関連性
F-1-5	貴島真佐子	歯科医師	大阪府	わかかさ竜間 リハビリテーション病院	回復期リハビリテーション病棟における歯科介入・ 嚥下リハビリテーション実施患者の口腔・嚥下機能の検討
F-1-6	十川純光	言語聴覚士	北海道	定山溪病院	「3食経口摂取の確立」に関する要因の検討 —退院実現に向けたSTのアプローチ—

F-2 摂食・嚥下リハ② 3月18日(土)15:45~16:39

座長:原口友子(鹿児島県/加治木温泉病院 総合リハビリテーションセンター技士長/言語聴覚士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
F-2-1	平岡誠	言語聴覚士	兵庫県	東浦平成病院	舌圧と前舌音の関連性～効果的な構音訓練を目指して～
F-2-2	川見知子	作業療法士	大阪府	弥刀中央病院	口腔顔面マッサージおよび嚥下体操が食事時の 咽の回数に及ぼす影響について ～当院での検証より～
F-2-3	池田友記	言語聴覚士	東京都	緑成会病院	嚥下障害を有する高齢者における 舌圧と咽頭貯留の関連性について
F-2-4	増田けい	言語聴覚士	兵庫県	平成病院	機能的口腔ケアが要介護高齢者の舌圧に与える効果
F-2-5	花見将一郎	言語聴覚士	鹿児島県	国分中央病院	地域包括ケア病棟患者の在宅復帰と摂食嚥下機能との関連性 ～MASAを用いての摂食嚥下評価による予後予測
F-2-6	小西晶子	言語聴覚士	大阪府	豊中平成病院	顎舌骨筋の筋緊張緩和における舌圧と主観的な嚥下効率の変化

F-3 摂食・嚥下リハ③ 3月18日(土)16:50~17:44

座長:野本達哉(東京都/永生病院 TQMセンター長・医療技術部長/医師)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
F-3-1	久田路子	言語聴覚士	福岡県	有吉病院	当院における経管栄養患者に対する取り組み
F-3-2	峯村祐子	看護師	東京都	新京浜病院	あきらめな経口摂取
F-3-3	高橋彩香	言語聴覚士	埼玉県	平成の森・川島病院	3段階のとろみ茶の院内統一基準の検討
F-3-4	廣瀬泰弘	言語聴覚士	大阪府	岸和田平成病院	嚥下機能と呼吸・発声機能との関連性について ～多職種での早期の対応を目指して～
F-3-5	中野真奈美	言語聴覚士	福岡県	若杉病院	脳幹出血による慢性期摂食嚥下障害に対し 舌接触補助床(PAP)を導入し改善した一例
F-3-6	島谷浩幸	歯科医師	大阪府	堺温心会病院	病院歯科とNSTとの関わり:放置義歯をなくす試み。

F-4 栄養 3月18日(土)17:45~18:30

座長:西出直人(石川県/芳珠記念病院 歯科口腔外科部長/歯科医師)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
F-4-1	片岡雄希	理学療法士	大阪府	浜寺中央病院	当院における入院患者の栄養状態・活動量・ADLの関係について
F-4-2	早川貴行	作業療法士	兵庫県	平成病院	当院、回復期リハビリ病棟における 廃用症候群患者の栄養状態とFIM利得の関連について
F-4-3	田中正一	医師	沖縄県	ちゅうざん病院	大腿骨近位部骨折術後リハビリテーションでの BCAA含有飲料の負荷効果の検討
F-4-4	桜井史明	管理栄養士	大阪府	千里リハビリテーション病院	胃瘻からの半固形化栄養剤の 誤嚥性肺炎の防止効果と経口摂取の可能性
F-4-5	肥塚佳果	管理栄養士	東京都	永生病院	輪状咽頭筋切除術を実施し、 一部経口摂取が可能となった延髄外側症候群の一例

## G会場(4階) 1日目

G-1 介護施設リハ① 3月18日(土)14:50~15:35

座長:阿部哲男(岩手県/南昌病院 老人保健施設部門 主任作業療法士/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
G-1-1	長澤久美子	理学療法士	神奈川県	介護老人福祉施設ヴィラ泉	介護職員と共に残存機能を活かすケアを考える
G-1-2	林健二	理学療法士	京都府	介護老人保健施設 マムクオーレ	活動を通して機能を変える ～入浴での治療介入により食事の自立度が向上した症例～
G-1-3	栩坂忠	理学療法士	兵庫県	介護老人保健施設 ふるさとの家	介護老人保健施設でのリハビリテーション提供方法の工夫と効果の検証
G-1-4	白川溪	理学療法士	香川県	永生病院	気管切開・重度四肢麻痺を呈し寝たきり状態から コミュニケーション獲得に至った症例 ～発症から約2年経過～
G-1-5	勝野史大	作業療法士	東京都	介護老人福祉施設 ケアホーム足立	レク委員会が発足したことによるリハビリ職員の 業務内容の変化の報告

G-2 介護施設リハ② 3月18日(土)15:36~16:21

座長:瀧村友貴(埼玉県/富家在宅リハビリテーションケアセンター デイケア室 室長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
G-2-1	吉田文裕	理学療法士	神奈川県	介護老人福祉施設 ヴィラ神奈川	利用者、ご家族と居宅ケアマネージャーが望むリハビリについての調査 ~デイサービスでのリハビリを考える~
G-2-2	黒瀬花絵	理学療法士	大阪府	淀川暖気の苑	従来型特別養護老人ホームにおける ポジショニングの意識調査と改善への取り組み
G-2-3	瀬川敦史	理学療法士	徳島県	介護老人保健施設 ケアホーム鶯敷	BPSD緩和へのアプローチ ~収集癖を持つ一症例への対応を検討して~
G-2-4	北野陽司	作業療法士	和歌山県	介護老人福祉施設 緑風苑	特別養護老人ホームにおける機能訓練指導員の役割 ~介護職員との相互作用を通じて~
G-2-5	櫻木寛子	言語聴覚士	神奈川県	介護老人福祉施設 ヴィラ桜ヶ丘	経口維持加算算定に向けての取り組み

G-3 リハ介護 3月18日(土)16:35~17:20

座長:高木洋平(東京都/平成扇病院 リハビリテーション部 係長/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
G-3-1	小林拓也	作業療法士	神奈川県	ヴィラ都筑	高齢者の不眠解消 ~アロママッサージの有効性と副次的効果について~
G-3-2	寺本かおる	看護師	山口県	山口平成病院	トイレでの排泄介助への取り組み~109歳からのメッセージ
G-3-3	高江洲翼	介護福祉士	大阪府	千里リハビリテーション病院	夜間の排泄方法を変更し、睡眠確保に繋がった例
G-3-4	増田秀香	介護福祉士	大阪府	千里リハビリテーション病院	日常生活におけるリハビリ介護の必要性
G-3-5	鈴木雄太	介護職	東京都	永生病院	回復期病棟入院中の患者に対する支援 —個別性に合わせたADL向上に向けて—

G-4 環境/医療安全 3月18日(土)17:21~18:15

座長:山崎博喜(福岡県/原病院 リハビリテーション部 係長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
G-4-1	中野敏和	理学療法士	三重県	介護老人福祉施設 ヴィラ四日市	夜間の転倒・徘徊に向けた取り組み ~睡眠の質に着目して~
G-4-2	兒玉百代	理学療法士	大阪府	平成記念病院	微小重力環境が全身状態に与える効果の検証
G-4-3	池上淳	理学療法士	兵庫県	西宮回生病院	ベッド環境がピークフローに与える影響について -呼吸機能の観点から誤嚥性肺炎の予防を検討する-
G-4-4	角田沙姫	理学療法士	大阪府	弥刀中央病院	当院における医療事故に関する職員の認識調査
G-4-5	野沢宏之	作業療法士	山梨県	恵信甲府病院	慢性期リハビリテーション訓練時に発生した事故の傾向と対策
G-4-6	湯浅恭子	看護師	徳島県	江藤病院	転倒転落防止への新たな取り組み ~赤外線センサー使用の効果~

## P会場(3階・ポスター発表) 1日目

P-1 認知症/生活リハ 3月18日(土)14:50~15:35

座長:山本美帆(北海道/定山溪病院 リハビリテーション部理学療法科 主任/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
P-1-1	浅香日南子	作業療法士	熊本県	阿蘇温泉病院	ライフレビューブックの制作を通して 思考・行動に変化が見られた症例
P-1-2	榎原愛	理学療法士	宮城県	石巻健育会病院	不適合な車椅子使用が身体に及ぼす影響と改善策の検討 ～座面体圧に着目して～
P-1-3	島田陽	言語聴覚士	大阪府	篤友会リハビリテーション クリニック	集団コミュニケーション療法により社会参加場面の 拡大が図れた在宅失語症患者2例についての報告
P-1-4	大塚将紘	理学療法士	熊本県	阿蘇温泉病院	熊本地震におけるリハビリテーションスタッフの ADL低下防止を目的とした病棟介入について
P-1-5	大口拓也	理学療法士	北海道	札幌明日佳病院	動機づけを利用した認知症患者への起き上がり動作練習 ～応用行動分析的介入～

P-2 難病患者リハ/脳血管疾患リハ/運動器疾患リハ/精神リハ 3月18日(土)15:50~16:35

座長:中川允(石川県/芳珠記念病院 リハビリテーション室 副主任/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
P-2-1	石原望	理学療法士	愛知県	八千代病院	多系統萎縮症により寝たきり状態である症例が、 娘の結婚式へ参加するために
P-2-2	渡邊孝志	理学療法士	埼玉県	介護老人保健施設 シルバーケア敬愛	生活期における片麻痺症例に対して心身機能向上は図れるのか ～姿勢制御の観点から治療介入を行った一症例～
P-2-3	藤内研介	理学療法士	岡山県	柵原病院	スポットで対応した 外国籍の脳卒中後遺症患者の経験とその時に感じたこと
P-2-4	石橋祐太	理学療法士	神奈川県	JCHO横浜中央病院	当院における大腿骨近位部骨折術後患者の動向について 地域包括ケア病棟開設前後を比較して
P-2-5	藤永祐人	理学療法士	神奈川県	北小田原病院	精神科高齢者治療病棟での疾患別リハビリテーション 介入の意義 ～患者・家族のニーズに着目して～

P-3 チームアプローチ/地域包括ケア 3月18日(土)16:50~17:35

座長:沼田一成(奈良県/奈良東病院 リハビリテーション科 科長/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
P-3-1	橋本剛士	理学療法士	福岡県	戸畑けんわ病院	地域包括ケア病棟開設に向けて ～当院での取り組み～
P-3-2	角川政喜	理学療法士	福岡県	戸畑けんわ病院	当院療養病棟におけるチームアプローチ体制構築に向けた取り組み
P-3-3	松本あすか	言語聴覚士	奈良県	秋津鴻池病院	多職種連携によって経口摂取を獲得し 施設への入所が可能となった症例
P-3-4	大塚千愛	理学療法士	東京都	介護老人保健施設 板橋ロイヤルケアセンター	老健入所中に叶えた里帰り旅行 ～家族と共にチームアプローチ～
P-3-5	大森桂子	看護師	京都府	京都民医連中央病院	地域包括ケア病棟へのレスパイト入院患者の現状と課題

# 一般演題発表 3月19日(日)

## B会場(3階) 2日目

B-5 高次脳機能障害/スタッフ育成 3月19日(日)9:30~10:24

座長:工藤美和(東京都/大久野病院 リハビリテーション部 作業療法科科长/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
B-5-1	菅原光晴	作業療法士	神奈川県	ふじの温泉病院	バリエーション症候群を呈した症例の視空間認知障害に対するアプローチ
B-5-2	鈴木雄峰	言語聴覚士	東京都	多摩川病院	レーヴン色彩マトリックス検査の課題構成内容分析と後頭葉病変例1例の誤反応分析
B-5-3	江村俊平	言語聴覚士	東京都	永生病院	相談支援にて1回の短期家族療法アプローチで通所拒否等の問題行動が解消された高次脳機能障害の一例
B-5-4	山本美帆	理学療法士	北海道	定山溪病院	ソーシャルスキルをテーマとした勉強会の実施～スタッフの『問題解決能力の向上』を目指して～
B-5-5	口野紗弥香	作業療法士	兵庫県	平成リハビリテーション専門学校	学生の慢性期リハビリテーションのイメージについて～学年進行と実習体験はイメージに関連性があるか～
B-5-6	柳本麻里	作業療法士	徳島県	博愛記念病院	経験年数からみた療法士に求められるスキル～療法士アンケート調査からみえた課題～

B-6 回復期リハ⑤ 3月19日(日)10:25~11:10

座長:鈴木真理(神奈川県/平成横浜病院 リハビリテーション科係長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
B-6-1	齋藤紀久	理学療法士	東京都	永生病院	退院後訪問の有用性について～症例を通して見えたこと～
B-6-2	佐藤悠吾	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	情動障害による易疲労性・意欲低下によって練習量の確保に難渋した症例
B-6-3	大寺誠	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	頸髄損傷患者におけるロボットリハビリテーションの効果
B-6-4	宮川友輔	作業療法士	香川県	橋本病院	生活行為マネジメントを使用して短期間で多くの生活行為を獲得できた一症例
B-6-5	福田靖治	看護師	兵庫県	西宮回生病院	当院回復期リハビリテーション病棟における看護師・セラピスト間の協働に関する意識調査結果

B-7 回復期リハ⑥ 3月19日(日)11:20~12:05

座長:田邊夏美(香川県/橋本病院 リハビリテーション部 主任/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
B-7-1	三堂聖也	理学療法士	東京都	信愛病院	当院回復期リハビリテーション病棟における転倒・転落対策委員会設置前後の事故発生状況の変化について
B-7-2	玉村悠介	理学療法士	大阪府	わかかさ竜間リハビリテーション病院	実績指数の除外基準3項目を満たす重症患者のFIM利得と自宅復帰について
B-7-3	古川雄一	理学療法士	熊本県	くまもと成仁病院	退院後6ヶ月を経過した時点のFIMの変化における検討
B-7-4	石川絵梨	作業療法士	愛媛県	松山リハビリテーション病院	当院の回復期リハビリテーション病棟における音楽療法での作業療法士の集団的個別訓練の取り組み
B-7-5	花谷達也	看護師	山口県	光風園病院	回復期リハ病棟でのアウトカム評価における認知障害の患者のFIMの運動項目改善について

B-8 回復期リハ⑦/精神リハ 3月19日(日)13:30~14:15

座長:錦見俊雄(大阪府/わかさ竜間リハビリテーション病院 院長/医師)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
B-8-1	梅田貴光	理学療法士	大阪府	豊中平成病院	離床時間が心身機能に与える影響
B-8-2	米原希	理学療法士	大阪府	千里リハビリテーション病院	内科的運動制限により積極的介入が困難であった脳梗塞患者の経過
B-8-3	久保進也	作業療法士	北海道	札幌西円山病院	当院回復期リハ病棟での認知症患者に対するリハビリ効果について
B-8-4	西哲史	作業療法士	愛媛県	HITO病院	当院地域包括ケア病棟において集団リハビリが在宅復帰に及ぼす影響
B-8-5	川野裕亮	理学療法士	東京都	平成扇病院	精神疾患を呈した患者1症例に対する運動療法の介入～リズム運動で気分・感情状態改善したうつ症例の検討～

C会場(3階) 2日目

C-5 排泄リハ① 9:30~10:15

座長:杉山寛行(山口県/光風園病院 リハビリテーション部 維持期主任/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
C-5-1	須崎賢一	理学療法士	東京都	緑成会病院	膀胱直腸障害におけるFIMの排尿項目改善の取り組み
C-5-2	伊藤菜穂子	理学療法士	大阪府	豊中平成病院	健常成人を対象とした尿意発現効果の検証
C-5-3	黒澤敏隆	理学療法士	大阪府	弥刀中央病院	ピークフローが排便機能に關与している可能性について
C-5-4	津江尚幸	理学療法士	山口県	山口平成病院	機能性尿失禁の非改善要因についての検討～改善群と非改善群を比較して～
C-5-5	田口裕紀子	マッサージ師・鍼灸師	大阪府	浜寺中央病院	便秘に対する腹部マッサージの検討

C-6 排泄リハ②/排泄介助 3月19日(日)10:16~11:01

座長:山田温(岩手県/南昌病院 訪問リハビリテーション部門 主任理学療法士/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
C-6-1	榎本早紀	理学療法士	神奈川県	平成横浜病院	機能性尿失禁・尿意曖昧者に対する段階的アプローチ～RIDLによる定時誘導を通して～
C-6-2	山倉宏矢	理学療法士	兵庫県	西宮回生病院	視覚、聴覚刺激が尿意へ与える影響と今後の課題
C-6-3	鈴木千佳	作業療法士	千葉県	印西総合病院	トイレでの排泄習慣獲得に向けて～各病棟での取り組み～
C-6-4	佐平安紀子	作業療法士	兵庫県	南淡路病院	ポータブルトイレに対する意識調査を通して
C-6-5	小林雅人	介護福祉士	愛媛県	松山リハビリテーション病院	患者に合わせたオムツ交換とスタッフの意識改革

C-7 排泄リハ③ 11:20~11:56

座長:吉本陽二(奈良県/奈良東病院 リハビリテーション科 統括科長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
C-7-1	藤井信濃	理学療法士	東京都	多摩川病院	臥位と立位における骨盤底筋挙上率の変化
C-7-2	永田貴志	理学療法士	大阪府	泉佐野優人会病院	回復期リハビリテーション病棟における集中的なトイレ関連動作練習によるFIM利得の改善効果
C-7-3	阪本峰	理学療法士	兵庫県	平成リハビリテーション専門学校	排泄関連動作の動作分析 ~所要時間の回復的变化に着目して~
C-7-4	正徳憲樹	理学療法士	兵庫県	東浦平成病院	脳血管疾患患者におけるトイレ動作と認知機能の関係

C-8 予防リハ 3月19日13:30~14:15

座長:村越大輝(千葉県/富家千葉病院 リハビリテーション室 室長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
C-8-1	佐藤翔	理学療法士	千葉県	印西総合病院	生化学検査から読み取る有酸素運動の効果検証
C-8-2	吉野浩一	理学療法士	東京都	永生病院	当院の地域住民への障害予防、健康増進への取り組みについての活動報告
C-8-3	仲井祐衣	理学療法士	兵庫県	西宮回生病院	壮年期のロコモティブシンドロームの罹患率と運動習慣について
C-8-4	中村賢一郎	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	当院の職員健診にて実施した腰痛調査の現状と今後の課題
C-8-5	吉田修久	作業療法士	奈良県	奈良東病院	回復期リハビリと介護予防・地域包括ケアとの連携について

## D会場(3階) 2日目

D-5 地域包括ケア① 3月19日(日)9:30~10:24

座長:矢野善久(福岡県/丸山病院 リハビリテーション介護保険部 理学療法室長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
D-5-1	櫻井真咲	理学療法士	東京都	多摩川病院	地域包括ケア病棟における自宅退院の為の要因の検討
D-5-2	木野田典保	理学療法士	東京都	永生病院	地域にリハ専門職を派遣する
D-5-3	供田武也	理学療法士	石川県	芳珠記念病院	地域包括ケア病棟における集団体操開始時期の検討
D-5-4	西村洋	理学療法士	熊本県	青磁野リハビリテーション病院	当院地域包括ケア病棟退棟患者の自宅退院に影響を及ぼす因子の検討
D-5-5	菊地昭人	作業療法士	鹿児島県	国分中央病院	地域包括ケア病床で動作プレートを活用して
D-5-6	波多腰淳子	看護師	東京都	緑成会病院	高齢で視力が悪い患者の在宅復帰支援の検討

## D-6 地域包括ケア② 3月19日(日)10:25~11:19

座長: 柏崎裕紀(神奈川県/江田記念病院 リハビリテーション科 技士長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
D-6-1	山田雄祐	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	当院地域包括ケア病棟における実績の変化と傾向
D-6-2	木村繁文	理学療法士	石川県	芳珠記念病院	総合事業を通じた地域住民との関わりから学んだこと
D-6-3	川村栄作	理学療法士	大阪府	堺温心会病院	地域包括ケア病床において同居家族の有無が在院日数・自宅退院時のADL能力に及ぼす影響について
D-6-4	堀口晃太	作業療法士	神奈川県	平成横浜病院	交通外傷による多発骨折を呈した一例 ～地域包括ケア病床から社会復帰にむけて～
D-6-5	立川典恵	看護師	東京都	永生病院	地域包括ケア病棟における看護師の役割と今後の課題
D-6-6	原口友子	言語聴覚士	鹿児島県	加治木温泉病院	一地方都市における地域リハビリテーション支援の実態 ～地域リハ広域支援センターとしての活動を通して～

## D-7 難病患者リハ 3月19日(日)11:30~12:15

座長: 池谷聡毅(神奈川県/新戸塚病院 リハビリテーション科 技士長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
D-7-1	田村大樹	理学療法士	秋田県	中通リハビリテーション病院	進行期の神経難病患者に対する関わり ～電動車いす駆動練習を中心に～
D-7-2	岩井愛恵	理学療法士	兵庫県	東浦平成病院	遠位型筋ジストロフィーに対する ロボットスーツHALの効果の検討
D-7-3	清水聡史	理学療法士	福岡県	若杉病院	中枢神経ループスによる重度障害に対するリハビリテーション
D-7-4	三品宏晃	作業療法士	山梨県	恵信梨北 リハビリテーション病院	療養型病院における作業療法の一例 ～生活歴を考慮したアプローチ～
D-7-5	土居香	作業療法士	山口県	萩慈生病院	多系統萎縮症(シャイ・ドレーガー症候群)患者の趣味の再獲得 ～他職種協働で支援したカメラ撮影～

## D-8 リハ看護/口腔ケア 3月19日(日)13:30~14:24

座長: 稲生裕也(東京都/世田谷記念病院 主任/看護師)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
D-8-1	大湊あゆみ	看護師	千葉県	印西総合病院	BPSDを有する認知症患者へのその人らしい生活を支える 看護について ～ユマニチュードの有効性について～
D-8-2	浦口由佳理	看護師	大阪府	泉佐野優人会病院	食事摂取に対して意欲が低い患者に寄り添う ～自宅退院に向けての取り組み～
D-8-3	田中恵	看護師	香川県	橋本病院	在宅復帰を希望する患者への看護師の関わり
D-8-4	香川莉紗	准看護師	香川県	橋本病院	回復期リハビリテーション病棟で拒否のある患者の原因、 リハビリへの参加意欲や身体能力の関係性
D-8-5	誉田久美子	看護師	東京都	多摩川病院	療養病棟における『バタカラ体操』への取り組み
D-8-6	藤江宏子	看護師	兵庫県	南淡路病院	通常の口腔ケアと口腔用ジェルを用いた口腔ケアが 胃瘻造設者の舌苔除去に及ぼす影響の比較

## E会場(4階) 1日目

### E-5 チームアプローチ③/がんリハ 3月19日(日)9:30~10:15

座長:石田真希(石川県/芳珠記念病院 リハビリテーション室 副主任/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
E-5-1	渡辺美恵	理学療法士	新潟県	長岡保養園	回復期病棟を経た経管栄養の方が、チームアプローチを行い経口摂取につながった一例
E-5-2	雑賀章仁	理学療法士	和歌山県	宇都宮病院	多職種連携による食事への取り組みが及ぼす効果について
E-5-3	沖さゆり	作業療法士	福岡県	大手町 リハビリテーション病院	慢性期病棟におけるティルトクライニング機能付きモジュラー車椅子を使用した離床の取り組み
E-5-4	谷場剛	看護師	大阪府	千里リハビリテーション病院	当院におけるチームアプローチ向上への取り組みⅢ ～患者個人パスを用いた情報交換を試みて～
E-5-5	竹下歩	理学療法士	福岡県	健和会京町病院	当院におけるがんリハの取り組み ～ベストサポーターケアを目指して～

### E-6 チームアプローチ④/医療情報/事故防止 3月19日(日)10:16~11:01

座長:外口徳秀(埼玉県/霞ヶ関南病院 リハビリテーション部 課長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
E-6-1	外間巧	理学療法士	東京都	品川リハビリテーション病院	各病棟で生じたインシデントの比較からみたリスクマネジメント方法の検討
E-6-2	木下裕基	作業療法士	東京都	介護老人福祉施設 ヴィラ町田	事故防止委員会によるヒヤリハット意識向上の取り組み ～転倒リスクアセスメントシートの導入～
E-6-3	恩庄美樹	介護福祉士	大阪府	千里リハビリテーション病院	ミトン・ベットの抑制を使用しない環境の提案 ～抑制廃止委員会の個別介入～
E-6-4	高野光星	理学療法士	神奈川県	介護老人福祉施設 ヴィラ横浜	事故防止への取り組み ～ヒヤリハットへの認識と意識向上、事故件数減少を目指して～
E-6-5	倉地剛	理学療法士	福岡県	筑紫南ヶ丘病院	生活期を支えるリハビリテーション部として ～タテからヨコへのつながりへ～

### E-7 生活リハ①/園芸・音楽療法 3月19日(日)11:15~12:09

座長:佐藤義則(宮城県/介護老人保健施設ゆうゆうホーム デイセンター長/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
E-7-1	中山千鶴	理学療法士	大阪府	弥刀中央病院	院内ホームワーク実施による効果検証:第2報 ～認知機能や導入面談が与える影響について～
E-7-2	峯田総介	作業療法士	東京都	世田谷記念病院	回復期リハビリテーション脳卒中患者における退院後ADLと主観的QOLの関連
E-7-3	出羽道子	作業療法士	大阪府	甲聖会記念病院	看取りは現状維持で十分だと思いませんか? ～1年以上の経過を経て食事が全介助から自己摂取可能へ～
E-7-4	山田健太	言語聴覚士	兵庫県	平成病院	成人吃音者の治療に対する方向性について
E-7-5	池上裕太	理学療法士	兵庫県	平成病院	ハーブを用いた石鹸作りによる目的意識を持ったレクリエーションの取り組み
E-7-6	井上貴絵	音楽療法士	岡山県	倉敷スイートホスピタル	関節リウマチ患者における音楽療法による疼痛の変化と背景因子の検討

## E-8 生活リハ②/自主トレーニング/障害リハ 3月19日(日)13:30~14:24

座長:内藤和也(山梨県/恵信甲府病院 主任作業療法士/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
E-8-1	岸智美	理学療法士	大阪府	岸和田平成病院	車椅子上肢駆動と下肢駆動の比較 ~身体への負荷の違いを検証し、選択肢の根拠の明確化を目指す~
E-8-2	合歓垣洸一	作業療法士	石川県	芳珠記念病院	重度身体障害者となった30歳代男性と両親の生活に焦点をあてた作業療法
E-8-3	村島悠太	作業療法士	広島県	山崎病院 デイサービスセンターさいわい	疾病及び運動に関する情報提供プログラムの効果検証 ~生活と運動の意欲向上への取組~
E-8-4	南梨沙	作業療法士	福岡県	有吉病院	高齢者のQOL再獲得へ向けたOTの関わり
E-8-5	中尾さくら	理学療法士	神奈川県	介護老人福祉施設 ウイラ神奈川	自主トレーニングの定着を図った事例
E-8-6	岸下結花	看護師	東京都	大久野病院	高次脳機能障害者の就労支援 ~個性をつよみにかえて~

## F会場(4階) 2日目

## F-5 終末期リハ 3月19日(日)9:30~10:24

座長:成田嘉乙(愛知県/小林記念病院 リハビリ科係長/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
F-5-1	坂本綾果	理学療法士	北海道	札幌ひばりが丘病院	地域包括ケア病棟から緩和ケア病棟へ ~当院における在宅生活を見極める症例の検討~
F-5-2	田中健登	理学療法士	滋賀県	近江温泉病院	慢性期における拘縮に対するアプローチの検討 第2報 姿勢筋緊張の影響に着目して
F-5-3	久保貴照	理学療法士	福岡県	戸畑 リハビリテーション病院	家族への支援も含めた帰宅願望の強い 肺がん終末期患者の1事例
F-5-4	白川愛香	理学療法士	福岡県	健和会京町病院	終末期がん患者様の在宅復帰を通して学んだこと
F-5-5	阿部卓弥	作業療法士	北海道	定山溪病院	終末期を迎えた方への当院リハの関わりと課題 ~ICF分類に基づく目標・訓練内容とFIMとの関連性を分析して~
F-5-6	安武哲宏	作業療法士	福岡県	戸畑 リハビリテーション病院	夫として最期まで妻を支えたい 褥瘡予防行為を通して夫婦の繋がりに寄与できた一例

## F-6 運動器疾患リハ① 3月19日(日)10:25~11:10

座長:長瀬正徳(東京都/陵北病院 リハビリテーション科/医師)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
F-6-1	安藤祐一	理学療法士	神奈川県	平成横浜病院	足踏みが人工股関節全置換術後の自覚的脚長差に与える影響
F-6-2	大東康宏	理学療法士	大阪府	わかたけ竜間 リハビリテーション病院	医療療養病床における化膿性脊椎炎患者の動向
F-6-3	藤田慎一朗	理学療法士	岡山県	倉敷スイートホスピタル	関節リウマチ患者のサルコペニアの実態
F-6-4	斎藤由衣	理学療法士	徳島県	江藤病院	起き上がり速度と関連因子の検討
F-6-5	加藤悟	理学療法士	神奈川県	平成横浜病院	TKA後の患者に対するUS群および、 US+TENS群での効果比較

F-7 運動器疾患リハ②/呼吸器疾患リハ① 3月19日(日)11:20~12:05

座長:土田遼太(長野県/上條記念病院 訪問リハビリ/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
F-7-1	椎葉恵	理学療法士	奈良県	奈良東病院	高齢者施設におけるロコモティブシンドロームの実態
F-7-2	細野健太	理学療法士	山口県	光市立光総合病院	超高齢者に対する運動療法実施後の身体機能の変化
F-7-3	眞子晶太郎	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	肺活量、咳嗽力に影響を与える因子の検討
F-7-4	杉本洋亮	理学療法士	富山県	光ヶ丘病院	鼻カニューレと酸素マスク(空マスク)併用での酸素吸入がADLに及ぼす効果
F-7-5	福元弥興	理学療法士	兵庫県	神戸平成病院	好気性運動と嫌気性運動が呼吸機能に与える効果について

F-8 呼吸器疾患リハ② 3月19日(日)13:30~14:06

座長:富張修平(埼玉県/富家病院 リハビリテーション室 室長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
F-8-1	中西秀人	理学療法士	東京都	世田谷記念病院	高齢入院患者における呼吸機能検査機器の有効性の検討
F-8-2	菊池美紗季	理学療法士	神奈川県	新戸塚病院	長期臥床により異常筋緊張を呈した症例 ~呼吸筋に着目して~
F-8-3	近藤敬介	理学療法士	兵庫県	園田病院	当院における呼吸ケアの現状
F-8-4	長谷部紘典	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	慢性腰痛症における脊椎彎曲変化と呼吸機能との関連

## G会場(4階) 2日目

G-5 通所リハ① 3月19日(日)9:30~10:24

座長:安齋登紀子(千葉県/総泉病院 リハビリテーション部 主任/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
G-5-1	伊計拓真	理学療法士	東京都	永生病院 介護サービス スマイル永生	自宅環境を加味した通所リハビリテーションにて日常生活動作が改善した一症例
G-5-2	木村圭佑	理学療法士	三重県	花の丘病院	「すぐろく」作成を用いたリハビリテーション専門職と通所系サービス職員向けの多職種連携教育の実施
G-5-3	山田正太	理学療法士	徳島県	江藤病院	通所リハビリ利用者における日常生活動作能力と生活行為への意欲との関連性の検討
G-5-4	小野寺智子	作業療法士	宮城県	介護老人保健施設 ゆうゆうホーム	アンケート調査からみたデイケア利用者のリハビリへの指向
G-5-5	朝川弘章	作業療法士	大阪府	介護老人保健施設 菟間之郷	介護老人保健施設におけるリハビリテーション マネジメント加算Ⅱの取り組み ~一事例を通して~
G-5-6	萩原智恵美	介護福祉士	埼玉県	富家在宅リハビリテーション ケアセンター	「消極的行動の認知症の方を活動的に」 一介護職が出来るデイケアでの取り組み一

G-6 通所リハ② 3月19日(日)10:25~11:10

座長:松本睦(長野県/上條記念病院 通所介護 主任/作業療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
G-6-1	門名晃輔	理学療法士	静岡県	湖東病院	在宅高齢者の室内転倒と上肢能力との関連
G-6-2	吉本達人	理学療法士	大阪府	豊中平成病院	当院デイケア利用者の利用頻度と自主練習がFIM運動、認知項目の点数に与える影響
G-6-3	大藪あかね	理学療法士	兵庫県	大原病院	歩行練習前に実施する注意機能課題の有用性について
G-6-4	鈴木弘樹	作業療法士	神奈川県	ヴィラ南本宿	デイサービスにおける集団リハビリの重要性
G-6-5	森下卓	作業療法士	熊本県	水前寺とうや病院	介護報酬改定に伴う当事業所での取り組み～生活行為向上リハビリテーションを通して～

G-7 義肢装具および機器① 3月19日(日)11:20~12:05

座長:池村健(徳島県/博愛記念病院 リハビリテーションセンター 部長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
G-7-1	松本徹也	理学療法士	東京都	緑成会病院	医療用HALの即時効果についての報告
G-7-2	花岡隆宏	理学療法士	大阪府	岸和田平成病院	頸髄損傷不全麻痺者にHonda歩行アシストを用いた歩行訓練効果～シングルケースデザインによる検証～
G-7-3	折見俊平	理学療法士	大阪府	泉佐野優人会病院	慢性期片麻痺患者の歩行に対し、Honda歩行アシストを使用したことによる効果の検証
G-7-4	木下大蔵	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	当院におけるHAL福祉用の使用状況
G-7-5	山崎博喜	理学療法士	福岡県	原病院	健常成人における階段昇降時の腹筋筋活動

G-8 義肢装具および機器② 3月19日(日)13:30~14:24

座長:原田佳澄(三重県/花の丘病院 リハビリテーション科 副主任/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
G-8-1	内藤拓未	理学療法士	東京都	牧田総合病院 蒲田分院	歩行練習アシストを用いた症例～重度片麻痺患者の運動機能、歩行能力の推移～
G-8-2	三好史華	理学療法士	大阪府	豊中平成病院	歩行アシスト及び徒手誘導でのステップ練習における治療効果の比較検討
G-8-3	廣岡良一	理学療法士	大阪府	浜寺中央病院	Honda歩行アシストを用いた歩行率・歩行速度への影響と効果の持続性についての検証
G-8-4	平井貴之	理学療法士	大阪府	泉佐野優人会病院	免荷式リフトを用いた片脚立位訓練の効果の検証
G-8-5	高田昌寛	理学療法士	徳島県	博愛記念病院	脳卒中片麻痺患者に対する歩行アシストの即時効果— Single Caseでの検証 —
G-8-6	平井竜太郎	作業療法士	福岡県	原病院	Honda歩行アシストを用いた歩行練習が脳卒中患者2例の歩行能力に与える影響(第1報)

## P会場(3階・ポスター発表) 2日目

P-4 廃用リハ/排泄リハ/高次脳機能障害/回復期リハ 3月19日(日)9:30~10:15

座長:河島邦宏(愛媛県/松山リハビリテーション病院 言語療法科科长/言語聴覚士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
P-4-1	田行友哉	作業療法士	岡山県	平病院	長期臥床者、家族に対する作業の意義 ~意味のある作業に焦点を当てて~
P-4-2	岩田研二	理学療法士	三重県	花の丘病院	通所介護利用者における尿失禁の現状と認知状況
P-4-3	上村亜矢	作業療法士	岡山県	柴田病院	車椅子使用者のトイレ関連動作自立に影響する 高次脳機能障害の種類とその程度
P-4-4	田實佑也	理学療法士	鹿児島県	加治木温泉病院	基本動作能力評価法の検者間信頼性および妥当性の検討
P-4-5	島崎祐輝	作業療法士	埼玉県	霞ヶ関南病院	退院支援のひとつに、 病棟内で行うボランティアを通じて考えたこと

P-5 リハ看護/通所リハ/予防リハ/訪問リハ 3月19日(日)10:30~11:15

座長:山本春彦(長野県/上條記念病院 リハビリテーション科 科長/理学療法士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
P-5-1	福田弥生	看護師	大阪府	岸和田平成病院	誤嚥性肺炎患者への経口摂取に向けてのアプローチ ~嚥下訓練プログラムを取り入れて~
P-5-2	染谷和久	理学療法士	埼玉県	一般社団法人 全国デイ・ケア協会	通所リハビリテーションにおける 中重度者の受入れに必要な要素とは
P-5-3	稲葉貴宏	理学療法士	埼玉県	富家病院	出かけたくなる介護予防教室の育成 ~自主グループ化に向けての取り組み~
P-5-4	武井誠司	理学療法士	愛知県	八千代病院	予後予測の視点から目標設定し 成功体験から主体性を見出した1症例
P-5-5	藪越明子	理学療法士	石川県	ほうじゆ訪問看護リハ ステーション緑ヶ丘	在宅にて多職種連携を行い、 在宅酸素療法を導入したことにより活動範囲が増加した1症例

P-6 在宅復帰・在宅支援/スタッフ育成/摂食・嚥下リハ 3月19日(日)13:30~14:15

座長:笠原好美(群馬県/内田病院 口腔衛生部門マネージャー/歯科衛生士)

演題番号	氏名	職種	都道府県	所属	タイトル
P-6-1	古賀規子	理学療法士	京都府	京都民医連中央病院	当院地域包括ケア病棟退院患者の再入院を検討する
P-6-2	石橋哲弥	理学療法士	東京都	緑成会整育園	重症心身障害児(者)の入所施設において 骨折の注意喚起による職員の意識変化
P-6-3	佐藤淑子	管理栄養士	東京都	介護老人保健施設いずみ	介護老人保健施設で嚥下調整食のコード変更により 摂食嚥下機能に改善がみられ長期在宅を目指した症例
P-6-4	井関貴善	言語聴覚士	東京都	緑成会整育園	喉頭気管分離術を行った 重症心身障害児・者への継続的な嚥下訓練
P-6-5	成田博信	理学療法士	神奈川県	新戸塚病院	遅番で食事動作への積極的な介入により、 全介助から自力摂取可能となった症例